



2014年9月1日

GLP-1 受容体作動薬「リクスマリア®」 投薬期間制限解除のお知らせ

サノフィ株式会社(代表取締役社長:ジェズ・モーリング、本社:東京都新宿区、以下「サノフィ」)は、**2013年8月27日**に薬価基準収載されたGLP-1 受容体作動薬「リクスマリア®」(一般名:リキシセナチド)について、厚生労働省の告示に基づく「新医薬品の投薬期間制限」が本年**9月1日**をもって解除されたことをお知らせします。

【リクスマリア®製品写真】



リクスマリア®は1日1回朝食前の投与で優れた食後血糖低下作用が認められた、基礎インスリンと併用可能なGLP-1 受容体作動薬です¹。リクスマリア®と基礎インスリンそれぞれの特性を活かし相補的に作用することで、良質な血糖コントロールを実現します²。

サノフィは、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンのもと、糖尿病患者さんの360度パートナーとして、今後も糖尿病患者さんの声に耳を傾け、多様な病態に応じた治療提案や、糖尿病診療における総合的な情報提供を行ってまいります。

以上

^{1,2}Seino Y, et al.: Diabetes Obes Metab 14 (10) : 910-917, 2012

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
www.sanofi.co.jp



リクスマリア[®]製品概要

製品名	リクスマリア [®] 皮下注 300 μ g
一般名	リキシセナチド
効能又は効果	2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。 ① 食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤(ビグアナイド系薬剤との併用を含む)を使用 ② 食事療法、運動療法に加えて持効型溶解インスリンまたは中間型インスリン製剤(スルホニルウレア剤との併用を含む)を使用
用法及び用量	通常、成人には、リキシセナチドとして、20 μ gを1日1回朝食前に皮下注射する。ただし、1日1回10 μ gから開始し、1週間以上投与した後1日1回15 μ gに増量し、1週間以上投与した後1日1回20 μ gに増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、1日20 μ gを超えないこと。
国内発売日	2013年9月17日

サノフィの糖尿病領域の取り組みについて

サノフィ株式会社は、患者さんの個々の病態に沿った革新的かつ総合的なソリューションを提供することによって、患者さんが糖尿病の複雑な問題を管理できるよう支援しています。糖尿病患者さんの声に耳を傾け、対話することによって得られた貴重な見解をもとにパートナーシップを構築し、糖尿病患者さんの多様な病態に応じた治療提案や糖尿病診療における総合的な情報提供を行っています。サノフィは1型糖尿病および2型糖尿病の治療薬として注射剤と経口剤の両剤を販売しています。

サノフィ・グループについて

サノフィ・グループは、グローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィ・グループは、ヘルスケア分野において7つの成長基盤を中核としています。それは糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、および新生ジェンザイムです。サノフィ・グループはパリ(EURONEXT:SAN)およびニューヨーク(NYSE:SNY)に上場しています。日本においては、約2,700人の社員が、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」をビジョンに、医薬品の開発・製造・販売を行っています。詳細は、<http://www.sanofi.co.jp>をご参照ください。